

(1)事業の概要等

令和6年度 事務事業評価シート

事業番号		B2202-5		事務事業名		一般事務事業指定文化財等病害虫防除委託料		事業期間		平成11年度		～		令和8年度以降				
実施計画事業																		
実施計画事業以外の事業		○		担当部		教育委員会事務局		担当課・担当係		文化財課文化財係								
事業の概要	小牧市まちづくり推進計画(R5年～R8年)	分野別計画編	基本施策	22	展開方向	2	事業・予算区分	一般事業	款	10	項	5	目	6	大	2	中	1
	根拠法令・個別計画	—						対象 (何・誰を対象に)	市指定天然記念物「小牧小学校校庭のクロマツ」									
	目的 (何のために)	市指定天然記念物(平成10年3月27日指定)であるクロマツが衰えることを防止するため。						内容 (どのような方法で)	○令和5年度の実施内容 クロマツに害虫が付くことを、薬剤を使用して防止するとともに、生育に必要な肥料を施した。 薬剤散布 年4回 土壌改良 年2回									

(2)事業費

事業費	項目	単位等	R2	R3	R4	R5	R6	
			直接経費	決算額	千円	1,320	1,375	1,375
	財源	一般財源 国・県支出金 その他						
		計(A)	1,320	1,375	1,375	1,485		
		対前年比	%	—	104.17%	100.00%	108.00%	
		予算額	千円	1,375	1,425	1,439	1,691	1,839
	人件費	正規職員	人	0.005	0.005	0.005	0.005	
		正規職員(平均賃金)	千円	37	37	37	37	
		その他職員	人					
		その他職員(時給×時間)	千円					
		計(B)	千円	37	37	37	37	
	事業費合計(C=A+B)		千円	1,357	1,412	1,412	1,522	

(3)業績

展開方向における指標の推移	基本施策	22	指標名		単位	方向性	基準値	R5	R6	R7	R8
			1	指定文化財の件数				件	↗	44	43
展開方向	2	2	講座や展示、ワークショップ等への参加者数		人	↗	37,137	38,181			
			3								

指標	指標ほか		単位	R2	R3	R4	R5	R6	
	成果指標								
				目標 実績					
	活動指標	消毒等の作業日数	日	目標 実績	— 6	— 6	— 6	— 6	— 6
		市指定天然記念物	件	目標 実績	4 4	4 4	4 4	4 4	4 4
		単位 事業あたり 事業費	受益者数(a)		人	—	—	—	—
	受益者あたり事業費(=C/a)		円	—	—	—	—		

(4-1)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維持(改善)	事業のボリュームは現状規模で維持するものの、手法の改善をするもの				
	事業の達成状況と課題	<ul style="list-style-type: none"> 市指定天然記念物「小牧小学校校庭のクロマツ」を後世に残すために病害虫駆除等を行っており、令和5年度は文化財の保全に努めることができた。 クロマツは、市内最大(樹高約22メートル)で、小学校の敷地内生えているため、適切に維持管理する必要がある。 	今後の実施内容・今後の改善内容	<ul style="list-style-type: none"> 今後も樹木医を有する造園業者に外注し、樹木医の指導の下、適切な事業実施により、文化財の保全に努める。 高木を支える支柱が老朽化してきており、更新を図る。 			
	改善の有無	無	事務事業評価	千円	節	細節	細々節
これまでの改善内容							

(4-2)事業継続の可能性(事業のスクラップ可能性)

評価項目		評価結果	評価結果を判断した理由	
事業分析	妥当性	行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	妥当である 小牧小学校の校庭内にあり、小牧市が管理をしているので、公費の投入は妥当である。	
	有効性	廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか	多くの住民に影響がある 天然記念物の維持管理は、気候や病虫害など自然現象に左右されるため、適切な手入れを継続しない場合、クロマツが枯死し、市民にとって貴重な文化財を失うことになる。	
	効率性	サービスを低下させずに総事業費を削減できないか	現状のままでよい	これまで、樹木医の所見を参考に事業実施しており、事業内容を削減するのは難しい。
		外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減の余地はないか	現状のままでよい	現在、外部委託している。
	公平性	受益者負担は適正か	適正である	病虫害防除については特定の受益者がおらず、適性である。